

### 文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞

学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げたとして「令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰」を受賞しました。



▲文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞者

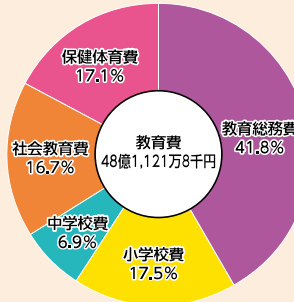
■受賞者（職名と所属は受賞当時のものになります。）

氏名	職名	所属	主たる功績等受賞理由
松元 みき	主幹教諭	福生第一小学校	生活指導の充実および若手の育成
佐藤 元希	主幹教諭	福生第四小学校	学校運営の推進
青山 純子	主任栄養教諭	福生第二小学校	栄養教育の推進
井伊 博政	教諭	福生第六小学校	指導力向上・学校運営への熱心な取り組み

問合せ 教育指導課教職員係 ☎ 551・1944

### 令和8年度教育費予算の内訳

令和8年度福生市一般会計予算 309億9千万円が3月の市議会定例会で認定され、そのうち教育費は15.5%の48億1,121万8千円の予算額となりました。



- 教育総務費 20億1,068万3千円**  
教育委員会とその事務局、小中学校の教育指導に要する経費
- 小学校費 8億4,093万9千円**  
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 中学校費 3億3,288万1千円**  
学校の運営、学校施設の整備に要する経費
- 社会教育費 8億585万1千円**  
公民館、市民会館、図書館、プチギャラリー、茶室の運営や、文化財保護などに要する経費
- 保健体育費 8億2,086万4千円**  
体育館及び屋外体育施設の管理、スポーツの推進事業に要する経費

問合せ 教育総務課教育総務係 ☎ 551・1930

### コミュニティ・スクール委員（学校運営協議会委員）を紹介します

コミュニティ・スクールは、保護者や地域の住民が一定の権限と責任をもって、学校運営に参加することによって、そのニーズを迅速かつ的確に学校運営に反映させ、より良い教育の実現を目指して平成16年に制度化されました。

任期 令和9年3月31日まで（敬称略）

福生第一小学校	福生第二小学校	福生第三小学校	福生第四小学校	福生第五小学校
浦野 明宏	森田 幸春	郡司 光志	山崎 源太	春日 廣信
石橋 朋広	北島 浩子	中野 恵一	金子 康二	野村 亮
島田 令子	土谷 利美	後藤 朝美	三ツ木 美紀	石川 博三
斉藤 純一郎	高橋 信行	中出 雅俊	高山 佐代子	遠藤 静
金井 久典	原 佳寿美	山崎 道男	山田 由美子	齋藤 悠
鴨下 修	佐々木 恵子	黒川 淳子	太田 泰之	杉本 雅希
高橋 由美子	伊藤 彰俊	末 永 考	並木 浩子	瀬沼 圭子
笠原 篤	坂口 皆子	梅林 直樹	出雲 幸貴	副島 正巴
坂村 直美	刈田 来人	村野 芳男	宮本 典幸	田村 宏彦
高瀬 智子	西村 学徳	浅倉 宏之	南方 孝之	鈴木 輝
福生第六小学校	福生第七小学校	福生第一中学校	福生第二中学校	福生第三中学校
青海 俊伯	宮崎 寿美代	土谷 利美	山田 眞一	板垣 和生
石田 智子	高山 浩之	中出 雅俊	田村 光男	曾根 早苗
平井 成泰	池田 英津子	伊藤 彰俊	下畑 成江	福原 敬三
古海 節子	村野 秀穂	松下 行輔	青海 俊伯	持田 洸
高山 雅代	高橋 眞弓	伊藤 弘大	森田 利夫	渡邊 三代子
海和 磨里子	高取 克明	森本 恭子	厚谷 まゆみ	杉本 雅希
後藤 美子	梁瀬 博章	濱原 幸恵	細淵 泰運	瀬沼 圭子
肥沼 直美	古屋 泰男	坂口 皆子	守時 美結	深津 貴成
鈴木 瑞穂	永峯 脩	青木 豊	浜名 清江	佐藤 智香
富永 大優	菅野 恭子	金子 敏治	平井 貞昭	増木 一仁

※牛浜もくせい中学校は福生第一中学校と兼務となります。

### 令和8年度福生市立学校校長・副校長の人事異動

転入者及び市内異動（敬称略）

氏名	新任校	令和7年度所属
鈴木 輝	福生第五小学校校長	教育庁指導部主任指導主事
纒坂 浩美	福生第三小学校副校長	福生第四小学校主幹教諭
林田 重敏	福生第二中学校副校長	八王子市立横山中学校副校長
菅原 直人	牛浜もくせい中学校分校長	教育庁指導部指導企画課指導主事

転出者（敬称略）

氏名	前任校	令和8年度所属
泉田 巧人	福生第五小学校校長	調布市立神代中学校校長
中村 将行	福生第三小学校副校長	青梅市立新町小学校副校長

問合せ 教育指導課教職員係 ☎ 551・1944

### 防衛省の交付金を活用しています

市では、安定的かつ効率的に事業を実施するために、防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金を基金化して次のような事業を実施しています。

事業名	問合せ
通学路見守り委託事業	教育総務課教育総務係 ☎ 551・1930
英語教育指導助手(外国人)委託事業	教育指導課指導係 ☎ 551・1538
防災教育センター維持管理等委託事業	学務課学務・給食係(学校給食センター) ☎ 551・8351
地域体育館指定管理委託事業	スポーツ推進課スポーツ推進係 ☎ 552・5511
市民会館指定管理委託事業	公民館公民館係 ☎ 552・2118

### 多摩川の渡船場（渡し）

ふくまめは、福生の文化財など福生に関する豆知識を紹介するコーナーです。



渡船場（渡し）とは、通行料を支払い、船または橋で川を渡る場所のことです。福生には、江戸時代から明治・大正期にかけて、多摩川を渡るため、上流から「福生渡船場（福生の渡し）」、「牛浜渡船場（牛浜の渡し）」、「熊川渡船場（熊川の渡し）」の3か所の渡船場があり、その跡地が令和8年3月に「福生市登録史跡」になりました。この3か所の渡船場は、福生と対岸の草花・二宮・小川、そして五日市を結ぶ交通の要所でした。夏場に多摩川の水量が多いときは船で渡り、冬場の渇水期には、木で橋を架け、渡りました。

大正時代の福生渡船場の通行料を調べてみると、歩いて渡ると1銭、自転車だと2銭、人力車が3銭、自動車が15銭だったようです。

これらの渡船場は、大正14年（1919）5、多摩橋が架設され、五日市鉄道が開通すると利用者が減少し、その役目を終えました。現在その跡地付近の多摩川には、それぞれ永田橋、多摩橋、睦橋が架けられています。



昭和初期の福生渡船場

問合せ 生涯学習推進課文化財係

☎ 530・1120